

**愛知・名古屋アジア大会 2026 に向けたクロスカントリーコース障害物製作並びに
設置スキル向上の為の実務研修**

講師プロフィール



Pierre le Goupil (FRA) Level4 Eventing CD

FEI 総合馬術委員会のメンバーであり、レベル 4 のコースデザイナー。2024 年パリオリンピックの世界文化遺産であるヴェルサイユ宮殿にて実施されたパリオリンピックの総合馬術クロスカントリーコースを設計からデザイン及び造成し、その創造性溢れるコースは芸術品であると高く評価をされました。

元トップレベルの総合馬術選手である彼は、1975 年から 2002 年まで国際競技会において 5 スタークラスまで出場し、競技者としても一流でした。彼は 1995 年からコースデザインと競技会運営等イベントに携わり、家族と共に「Le Grand Complet」を創設しました。これはノルマンディーで開催され、フランス及びヨーロッパでも最も重要な馬術のイベントの 1 つとされています。このイベントは、2010 年にパン国立馬場（Haras National du Pin）に場所を移し開催されています。彼はコースデザイン及びその卓越したスキルと熟練度を活かして世界各地で活躍し、ブラジル、ブルガリア、ベラルーシ、中国、ハンガリー、インド、日本、ロシア、チリなどの国々でコースを作ってきました。メジャーな大会としては、2023 年パンアメリカン大会、2023 年ヨーロッパ選手権を経て、オリンピックのコースデザイナーへと推挙されました。2020 年以降は、FEI 総合馬術委員会のメンバーに任命され現在の活躍に至っています。

障害物製作事例

① ホース障害



② ハウス障害



③ コーナー障害



障害物作成時の様子

